



# 2023年3月期 第1四半期 決算説明資料

AIDA

アイダエンジニアリング株式会社

# 連結業績ハイライト 《損益概要》



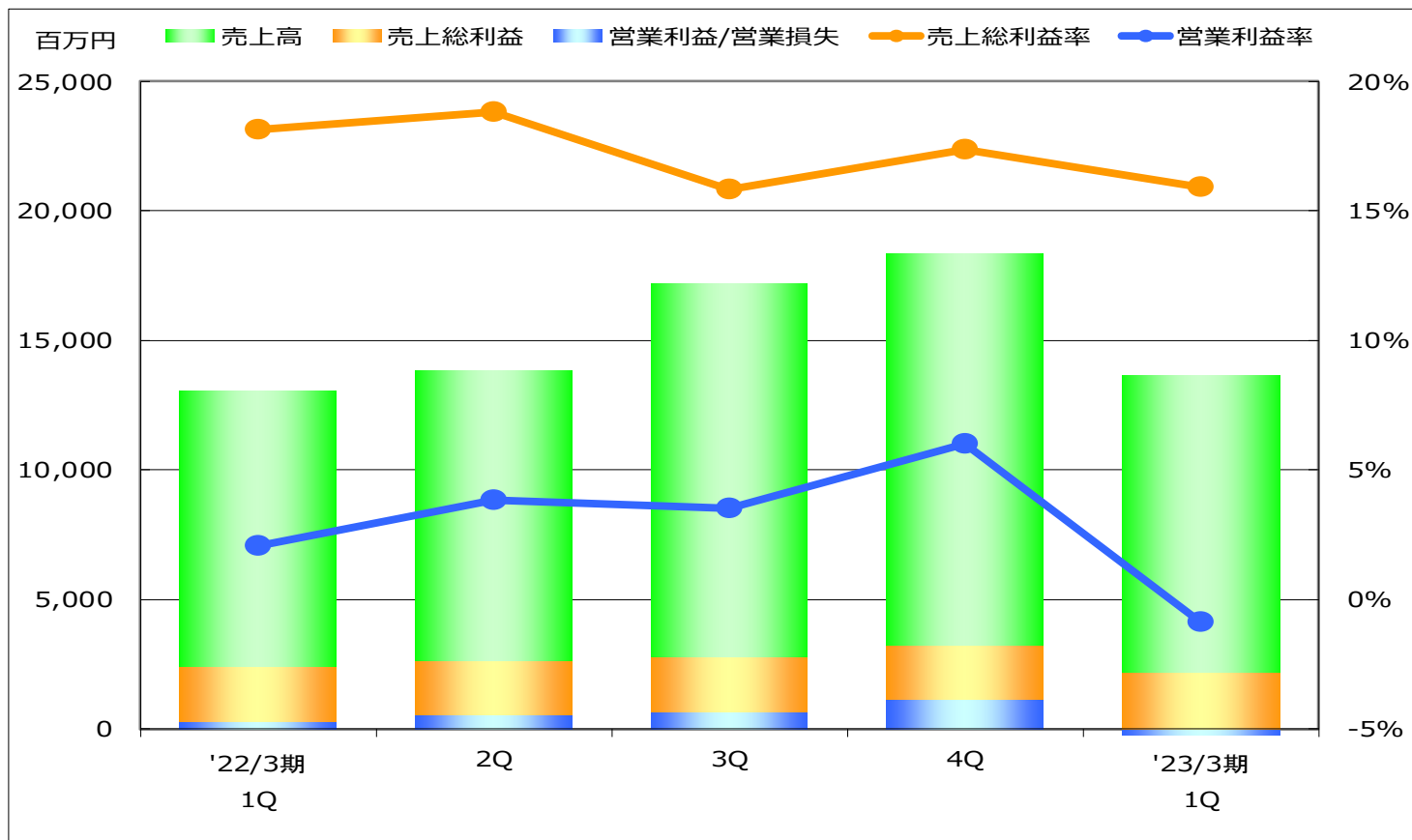
【単位：百万円】	2022年3月期	2023年3月期	対前年同期増減	
	1Q累計実績	1Q累計実績	金額	率
受注高	20,566	31,773	11,207	54.5%
売上高	13,079	13,665	585	4.5%
売上原価	10,704	11,491	786	7.3%
売上総利益（粗利）	2,375	2,174	△ 200	△8.5%
<売上総利益率（粗利率）>	18.2%	15.9%		(△2.3P)
販売費及び一般管理費	2,104	2,295	190	9.1%
営業利益/営業損失	270	△ 121	△ 391	-
<営業利益率>	2.1%	△0.9%		(△3.0P)
経常利益 / 経常損失	380	△ 117	△ 497	-
税引前利益 / 税引前損失	367	△ 120	△ 488	-
親会社株主に帰属する当期純利益/純損失	226	△ 175	△ 402	-
【換算レート】	1USD 1EUR	¥109.51 ¥131.91	20.01 6.09	18.3% 4.6%

## 【概況】

電気自動車関連の需要拡大で受注は大幅増加、四半期ベース過去最高となった売上は増収となるも、粗利率低下により減益

受注高	電気自動車関連の設備投資拡大により「高速プレス」の受注が大幅に増加し、四半期ベースで過去最高の受注高となった（前年同期比54.5%増加）
売上高	中・大型プレス機械の工事進行基準売上の増加等により前年同期比4.5%増となるも、電子部品不足やロックダウン等の影響で売上がズレ込み当初想定を下回る水準となった
売上総利益（粗利）	固定費増に対する売上不足に加え、原材料費、外注費、物流費等の原価高騰、高付加価値プレス案件やサービスの売上ズレ込みによる粗利率低下等により、前年同期比8.5%減
営業損失	粗利の減少に加え販管費の増加(円安影響含む)により営業赤字
経常損失	上記要因及び、海外現法における円建資産の為替評価損計上(円安影響)により、経常赤字
親会社株主に帰属する当期純損失	上記要因により、四半期純損失

# 四半期別 売上高・売上総利益・営業利益推移

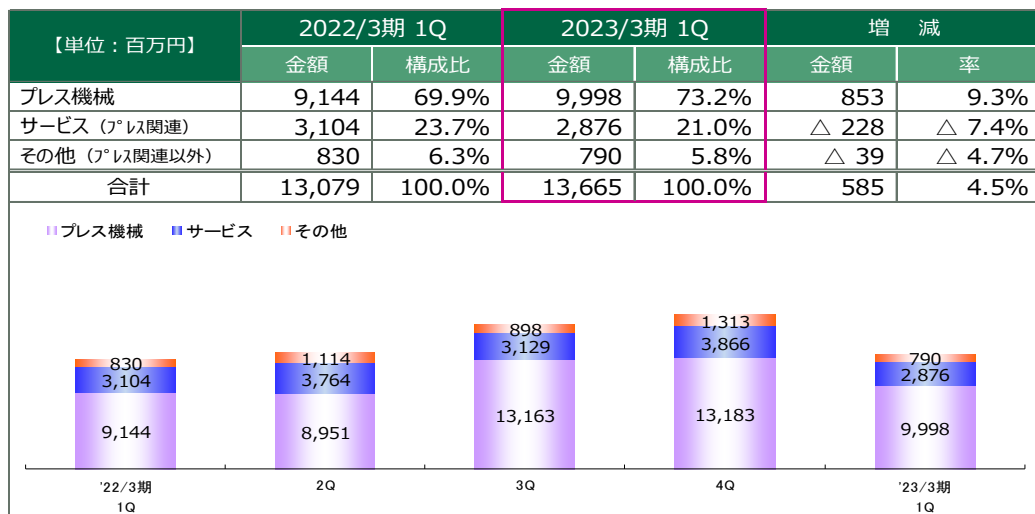


【単位：百万円】	2022/3期				2023/3期
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
売上高	13,079	13,830	17,192	18,363	13,665
売上総利益	2,375	2,600	2,724	3,192	2,174
営業利益/営業損失	270	528	601	1,105	△121
売上総利益率	18.2%	18.8%	15.8%	17.4%	15.9%
営業利益率	2.1%	3.8%	3.5%	6.0%	△0.9%

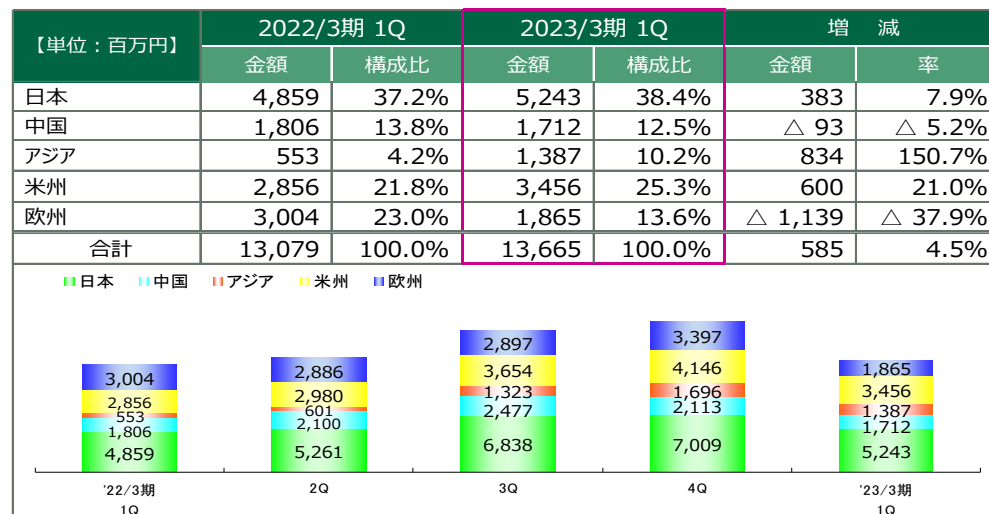
# 売上高(事業区分別・外部顧客(地域)別・顧客業種別)



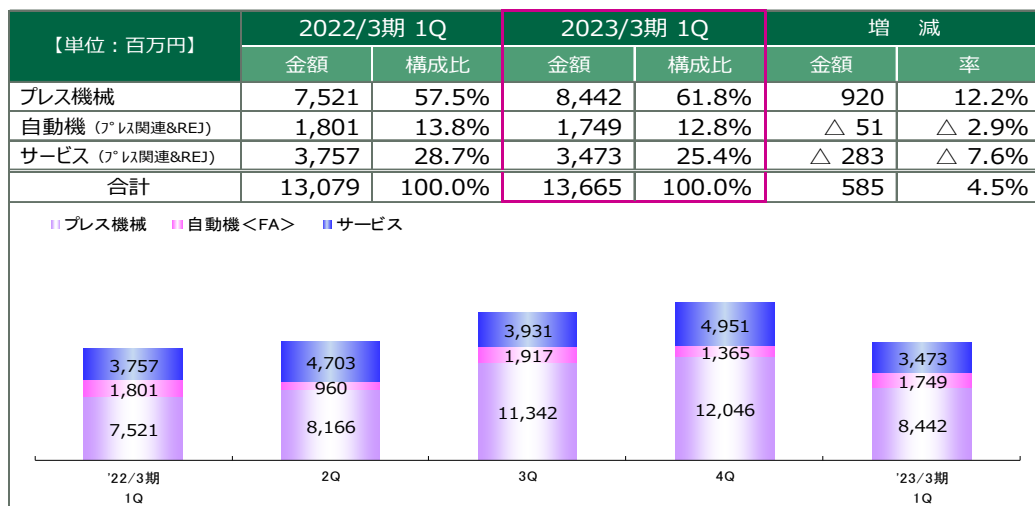
## 事業区分別 (ﾌﾟﾚｽ/関連/その他) 売上高



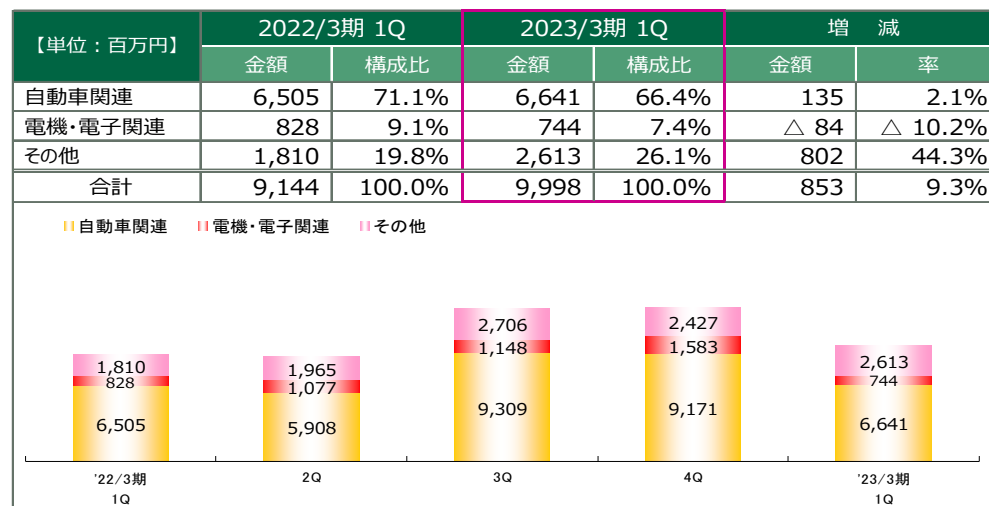
## 外部顧客 (地域) 別 売上高



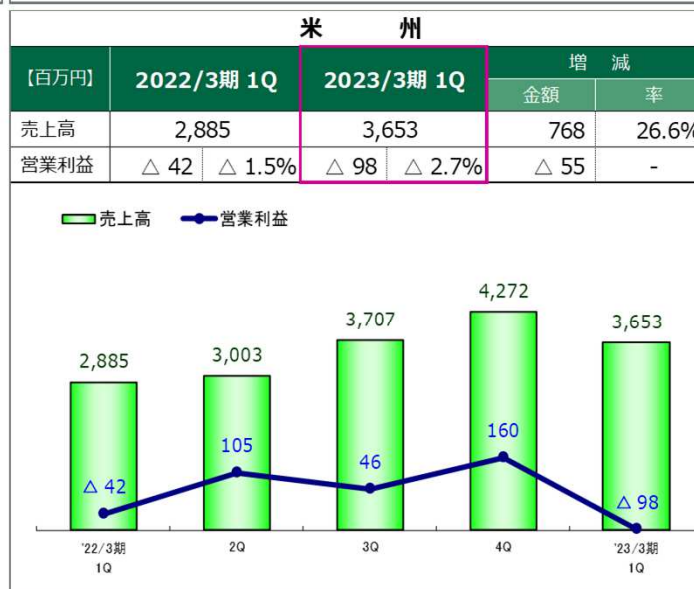
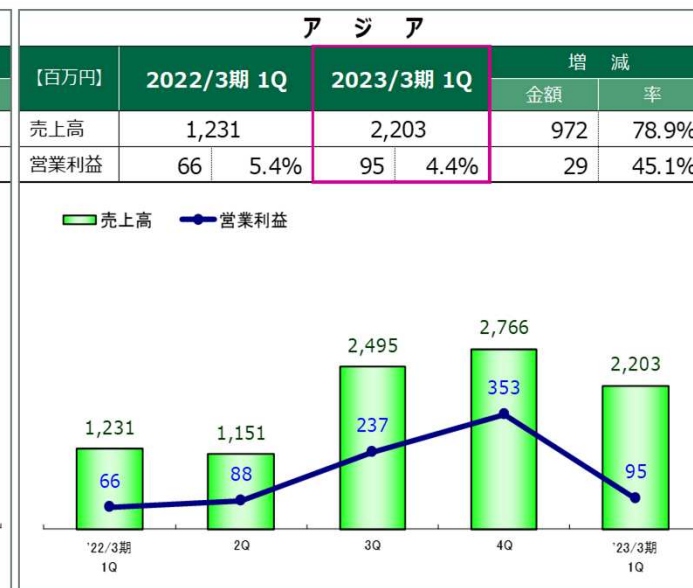
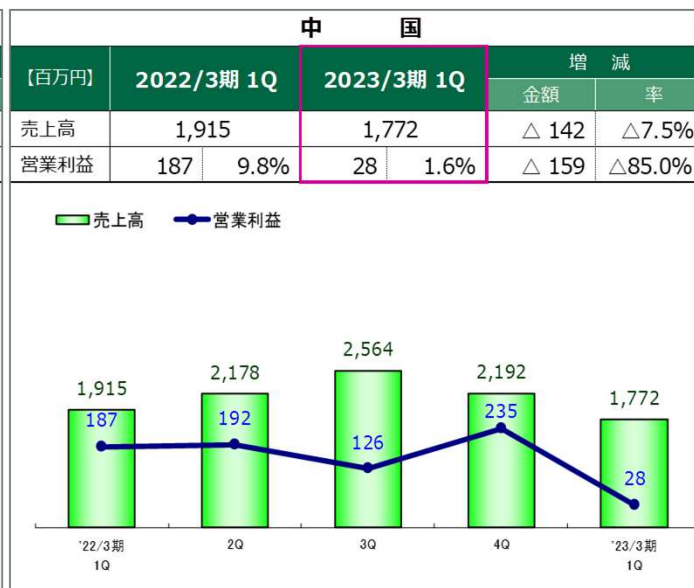
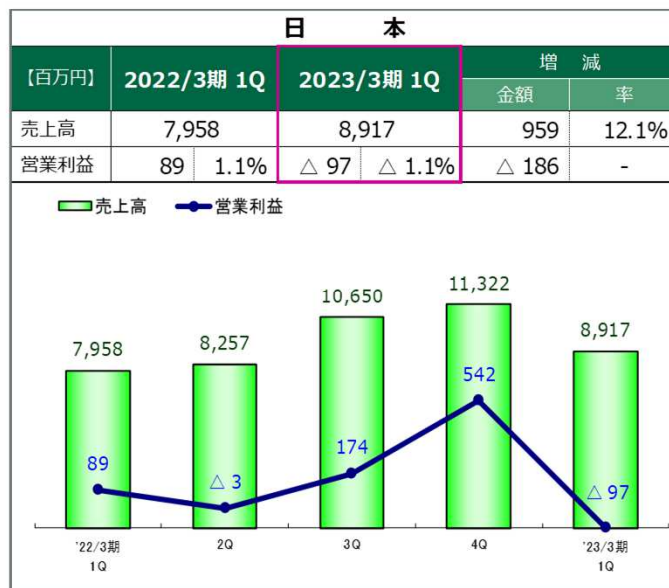
## 中期経営計画における事業区分別 (ﾌﾟﾚｽ/FA/サービス) 売上高



## 顧客業種別 プレス機械売上高



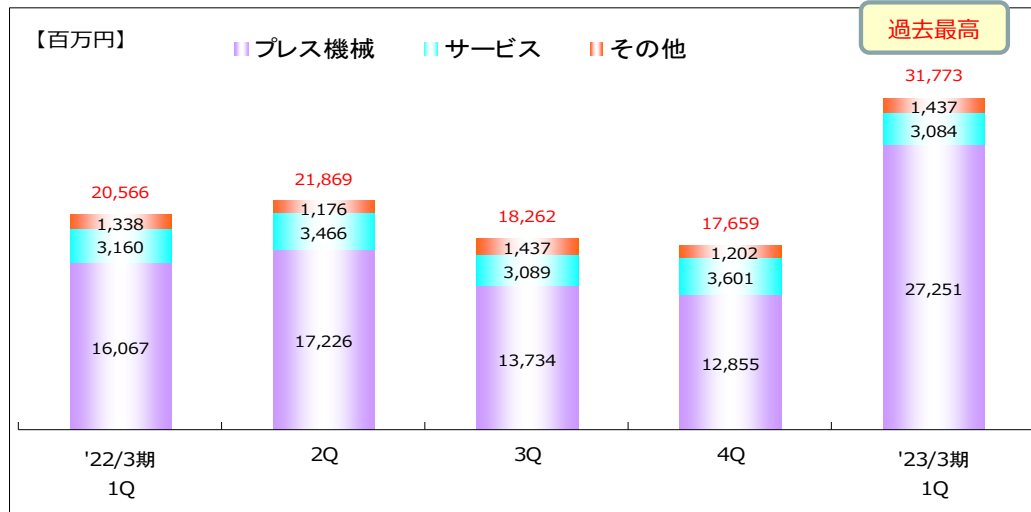
# 売上高・営業利益(所在地セグメント別)



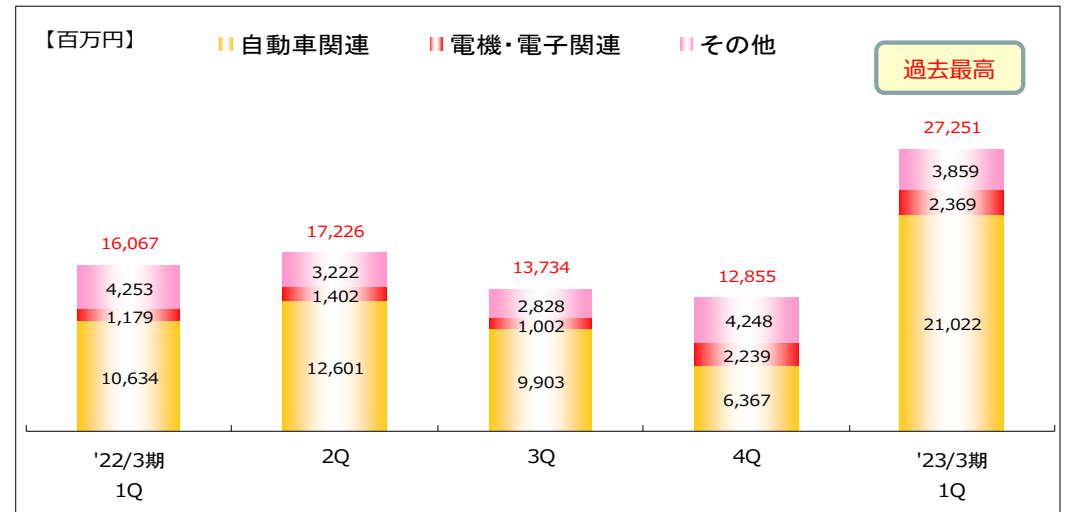
# 受注高(事業区分別、顧客業種別、所在地別)、受注残高(所在地別)



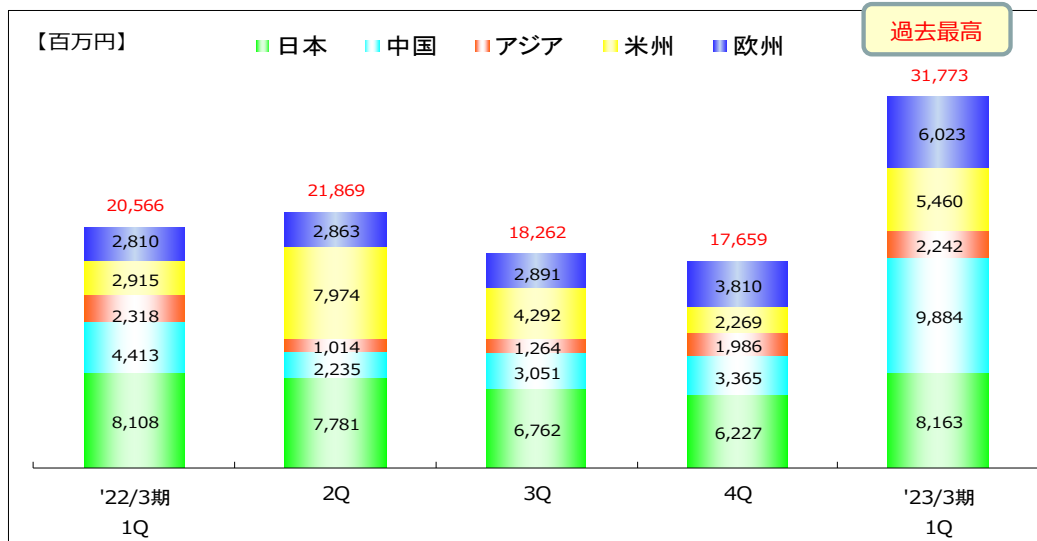
## 事業区分別 受注高



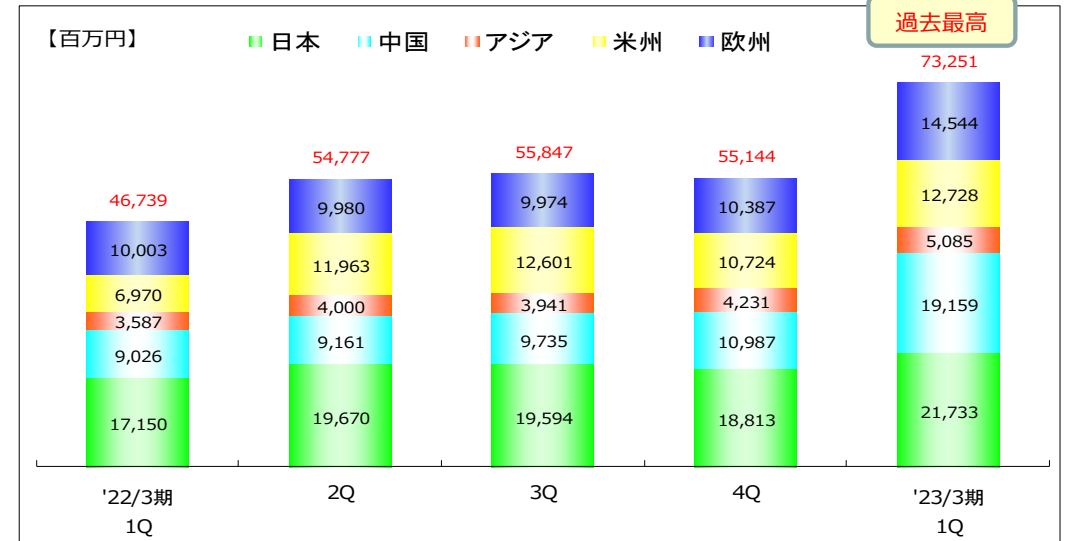
## 顧客業種別 プレス機械受注高



## 所在地別 受注高

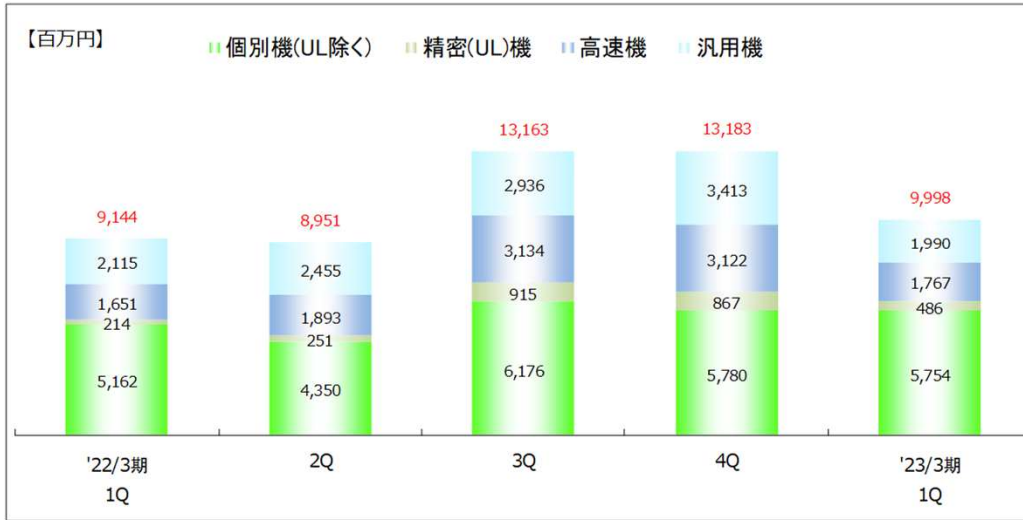


## 所在地別 受注残高



# プレス機械機種別 売上高・受注高・受注残高

## 機種別 プレス機械売上高



### 汎用機

⇒ 汎用性の高い小型プレス



### 精密(UL)機

⇒ 高精度、高剛性の特殊モデル



### 高速機

⇒ 高速成形が可能な小・中型プレス

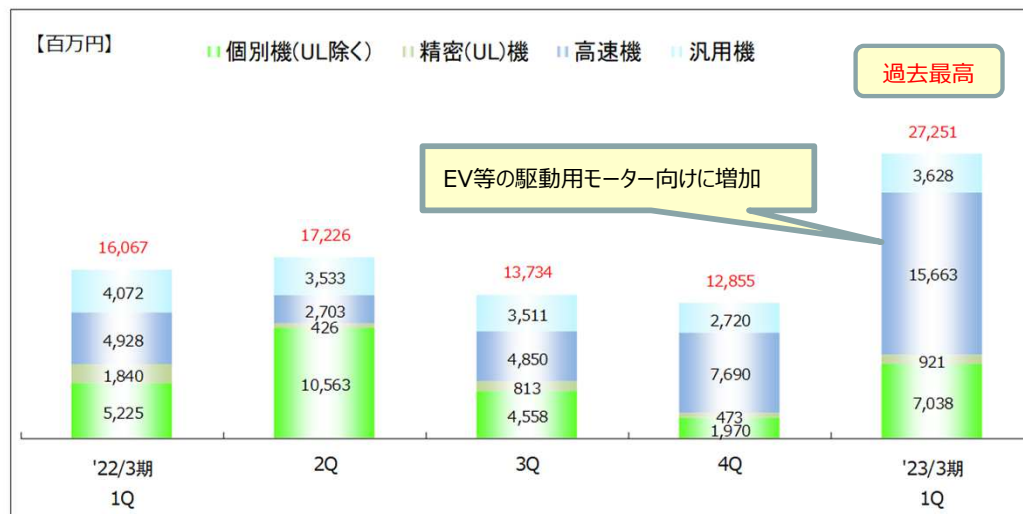


### 個別機 他

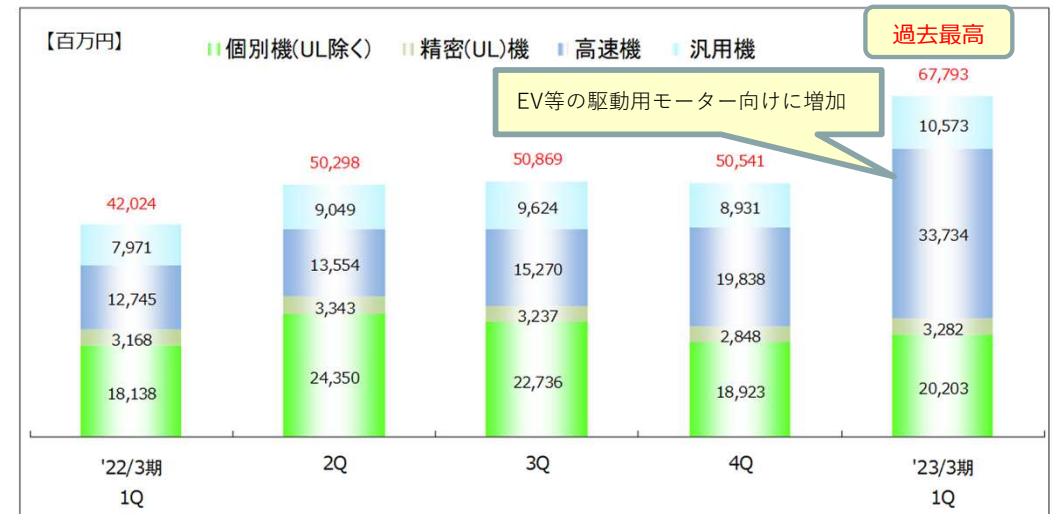
⇒ 個別仕様の中・大型プレス



## 機種別 プレス機械受注高



## 機種別 プレス機械受注残高



# 連結貸借対照表

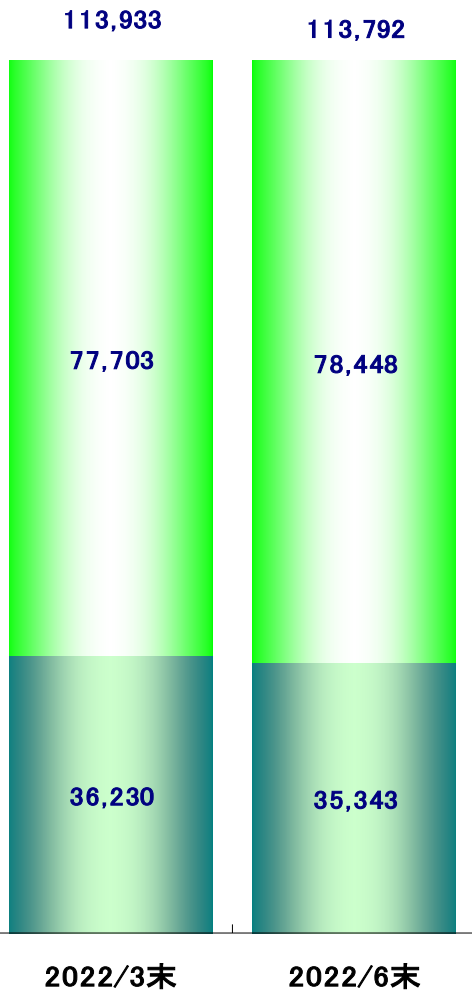
## 資産合計

■ 固定資産 ■ 流動資産

【百万円】

対前期末

**資産合計**  $\triangle$  141



<b>流動資産</b>	<b>+ 745</b>
現金及び預金	$\triangle$ 4,680
売上債権 (受取手形、売掛金及び契約資産、電子記録債権)	+ 2,059
棚卸資産	+ 3,269

<b>固定資産</b>	$\triangle$ 886
投資有価証券	$\triangle$ 1,318

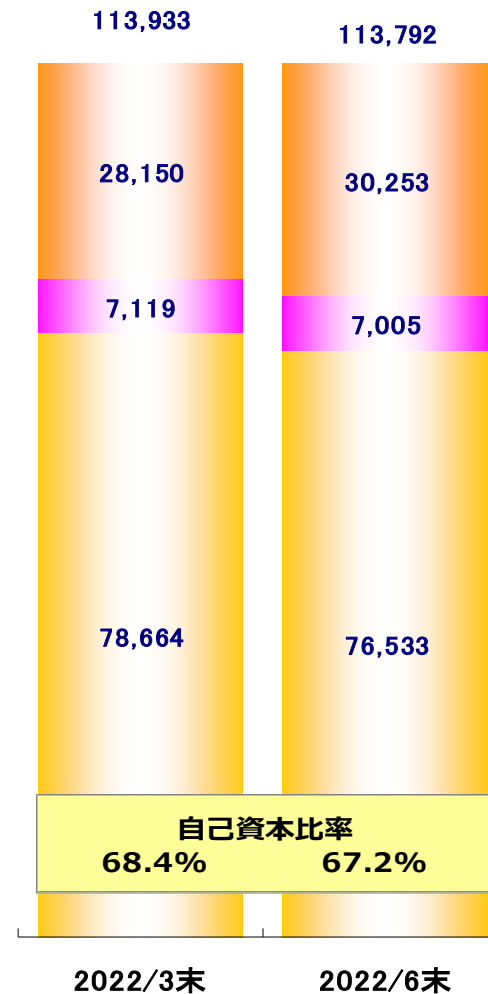
## 負債・純資産合計

■ 純資産 ■ 固定負債  
■ 流動負債

【百万円】

対前期末

**負債合計** + 1,989



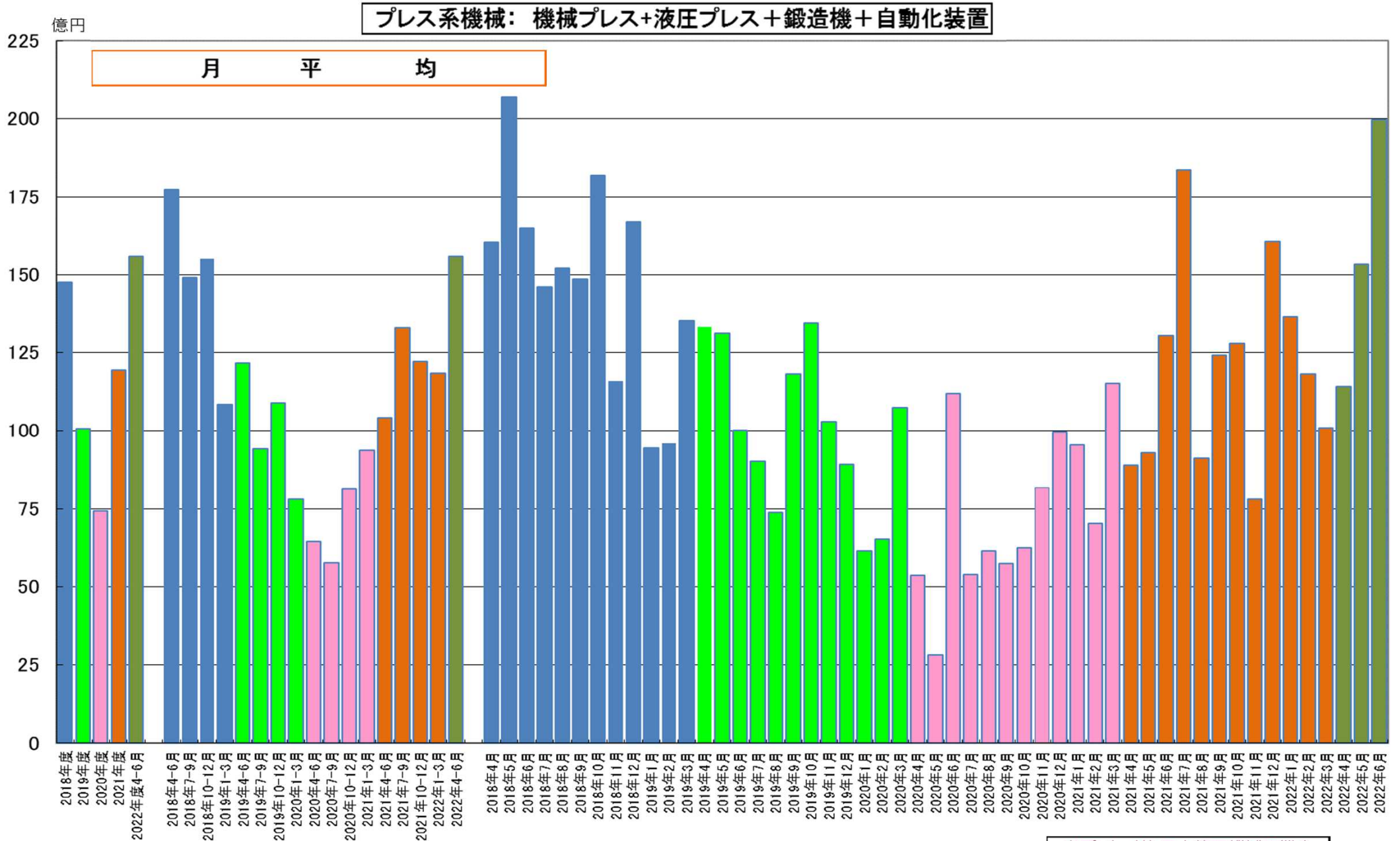
<b>流動負債</b>	<b>+ 2,102</b>
仕入債務 (買掛金及び電子記録債務)	$\triangle$ 829
未払金	$\triangle$ 978
契約負債	+ 4,015
<b>固定負債</b>	$\triangle$ 113

<b>純資産合計</b>	<b><math>\triangle</math> 2,130</b>
利益剰余金	$\triangle$ 1,778
その他有価証券評価差額金	$\triangle$ 925
為替換算調整勘定	+ 1,491

**自己資本比率**  
68.4% 67.2%



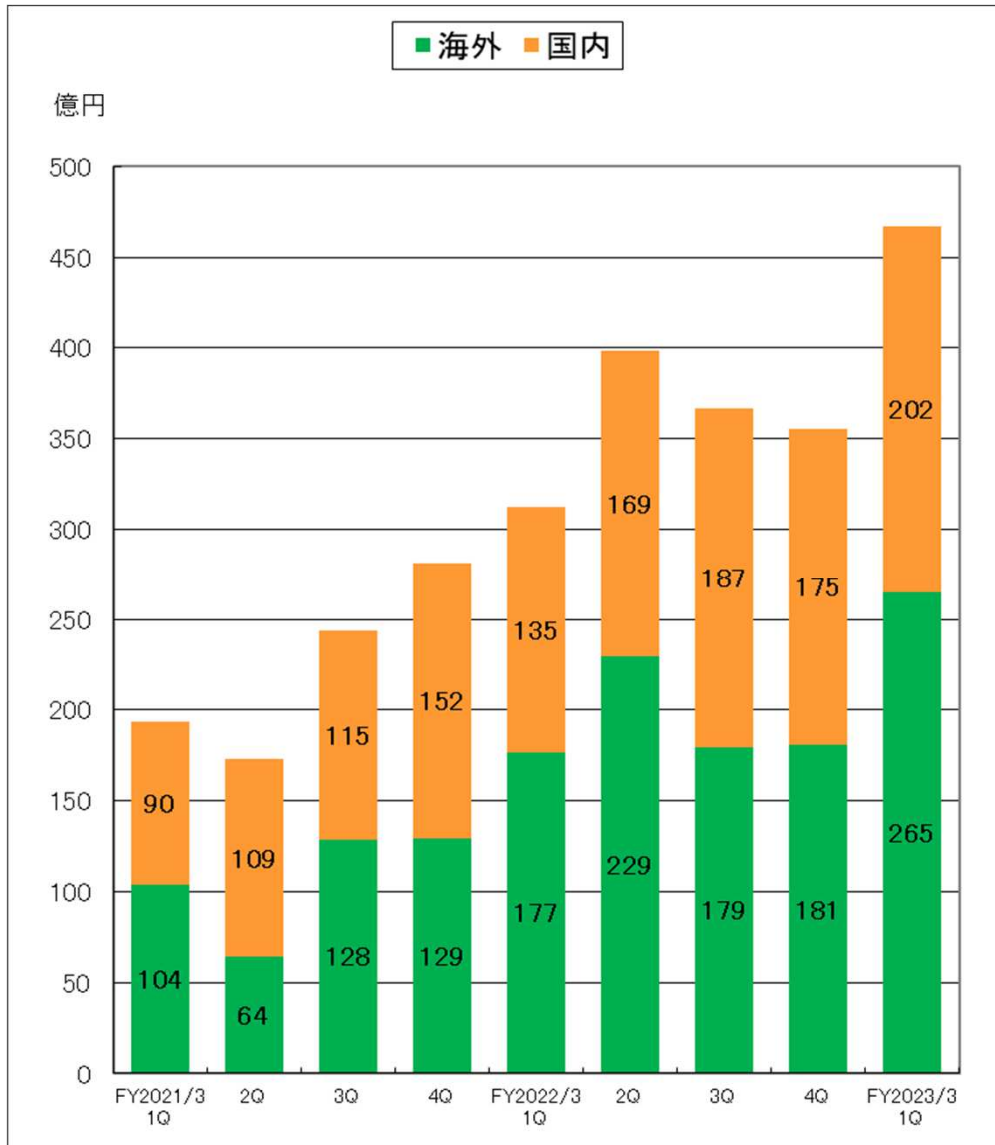
# (参考) 鍛圧機械製造業 (プレス系機械) 受注推移1



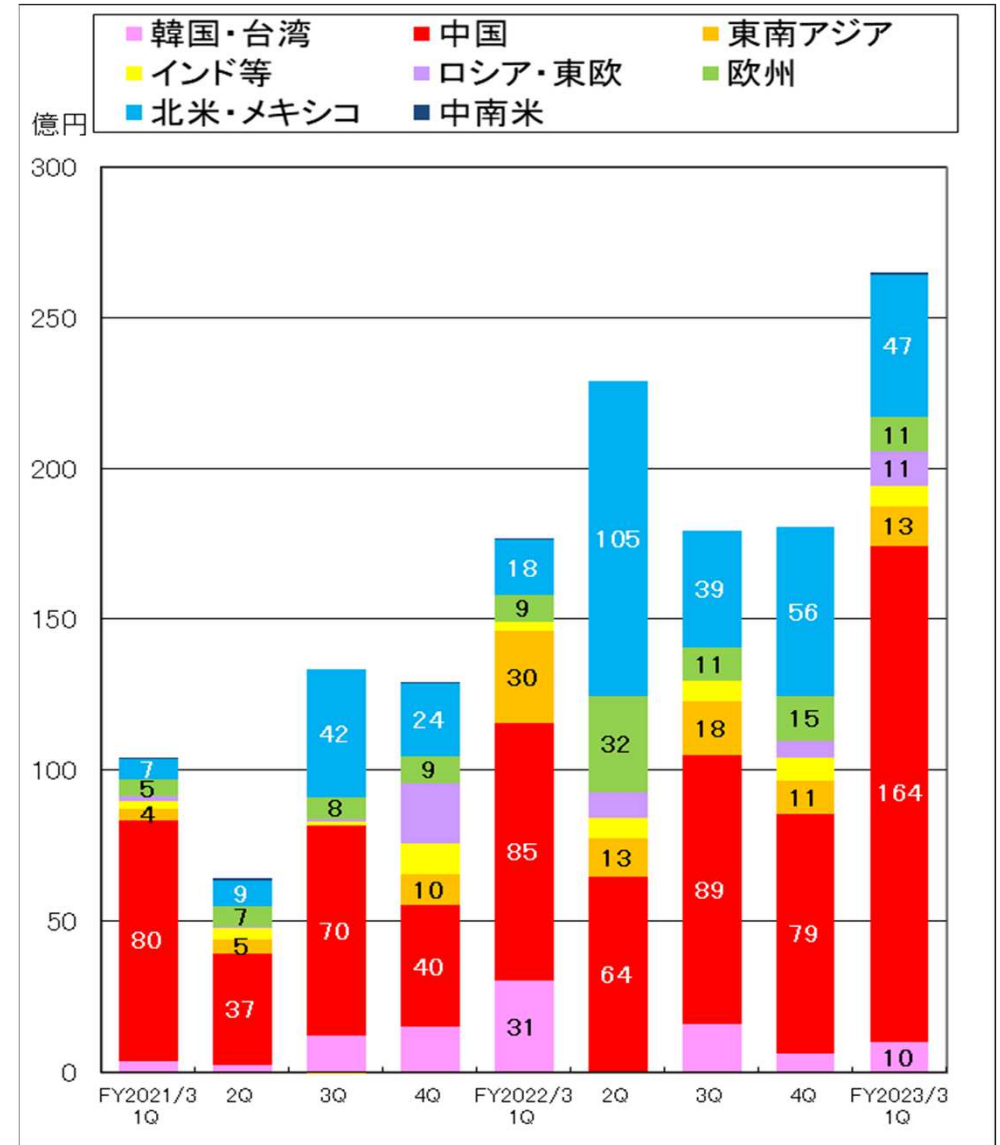
出所：(一社)日本鍛圧機械工業会

# (参考) 鍛圧機械製造業 (プレス系機械) 受注推移2

## 国内・海外 仕向地別



## 海外向 地域別



出所: (一社) 日本鍛圧機械工業会

# 当資料取り扱い上の注意点



当資料には将来見通しが含まれております。将来見通しは、現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。この将来見通しは、仮定または仮定に基づく根拠が含まれており、環境によっては、想定された事実や根拠は実際の結果とは異なる場合があります。

当社または当社の経営者は、将来の結果についての期待または確信を述べていますが、その期待や確信、あるいはそれに近い結果が実際に達成されるという保証はありません。また法令等に別途定めがある場合を除き、当社はいかなる将来見通しも最新のものとする義務を負っておりません。

2022年 8月

アイダエンジニアリング株式会社  
代表取締役会長兼社長 会田 仁一